

# 2026 年度入試 一般選抜 A (1 月 30 日)

## 出題の意図【数学】

### ■大問 1

数学 I・A・II・C の基礎事項の理解と、それらを適切に活用して問題を解決する力を問う。絶対値を含む不等式や二次関数の共有点、確率と期待値、円の接線といった各分野の基礎知識の習熟度を評価する。また、平面図形の性質や三角比の相互関係の理解を通じ、数式の処理能力と図形的な考察力をバランスよく測定する意図がある。

### ■大問 2

常用対数を用いた数式処理と、数値の大きさを評価する応用力を問い、対数法則を駆使し、累乗された小数の値を的確に算出できるかを評価する。負の指数を伴う数値の大きさを対数を用いて把握し、小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるかを特定するプロセスを通じ、位取りの仕組みの深い理解を測定する意図がある。

### ■大問 3

関数の決定と面積計算を通じ、微分・積分の総合的な理解度を問う。複数の未知数を含む二次関数に対し、積の微分や定積分の値といった異なる条件を統合し、係数を的確に特定する論理的な数式処理能力を評価する。また、放物線と直線で囲まれた領域の面積算出を通じ、積分計算の習熟度と正確性を測る意図がある。

### ■大問 4

数学Ⅲの微分・積分における基礎事項の理解と、それらを適切に活用して問題を解決する力を問う。対数関数上の点における法線が特定の点を通る条件を整理し、変数の振る舞いから法線の本数を制御する論理的な考察力を評価する。また、三角関数の回転体の体積計算を通じ、正確な計算手順を実行する技能を測る意図がある。